

Being KDDI, Being More **INSPIRED**

KDDIは、すべてのステークホルダーを「お客様」と捉えています。お客様の声は価値創造の源泉であり、お客様のご支持は持続的な発展を支える基盤です。これからもお客様を見つめ続けていきます。感性を研ぎ澄ませながら。



コーポレート・ガバナンス

役員

2010年6月17日現在

取締役



おの であら ただし
小野寺 正
代表取締役社長兼会長
'97.6 当社代表取締役副社長
'01.6 当社代表取締役社長
'05.6 当社代表取締役社長兼会長(現任)



ありとみ かんいちろう
有富 寛一郎
代表取締役副会長
'09.8 当社特別顧問
'10.6 当社代表取締役副会長(現任)



もろずみ ひろふみ
両角 寛文
代表取締役執行役員副社長
'07.6 当社取締役執行役員専務
'10.4 当社コーポレート統括本部長(現任)
'10.6 当社代表取締役執行役員副社長(現任)



たなか たかし
田中 孝司
代表取締役執行役員専務
'07.6 当社取締役執行役員専務
'10.4 当社ソリューション事業本部担当兼
コンシューマ事業本部担当商品開
発統括本部担当(現任)
'10.6 当社代表取締役執行役員専務(現任)



たかはし まこと
高橋 誠
代表取締役執行役員専務
'07.6 当社取締役執行役員専務
'10.4 当社グループ戦略統括本部長(現任)
'10.6 当社代表取締役執行役員専務(現任)



しまたに よしはる
嶋谷 吉治
取締役執行役員専務
'03.4 当社執行役員
'09.6 当社取締役執行役員専務(現任)
'10.4 当社技術統括本部長兼運用統括本部
担当兼建設統括本部担当(現任)



いのう え まさひろ
井上 正廣
取締役執行役員専務
'05.1 当社執行役員専務
'10.4 当社商品開発統括本部長(現任)
'10.6 当社取締役執行役員専務(現任)



いしかわ ゆうぞう
石川 雄三
取締役執行役員専務
'01.6 当社執行役員
'09.4 当社ソリューション事業本部長(現任)
'10.6 当社取締役執行役員専務(現任)



ゆあさ ひでお
湯浅 英雄
取締役執行役員専務
'03.4 当社執行役員
'10.4 当社コンシューマ事業本部長(現任)
'10.6 当社取締役執行役員専務(現任)



ならたに ひろむ
奈良谷 弘
取締役執行役員専務
'03.5 当社執行役員
'10.4 当社渉外・マーケティング統括本部長
(現任)
'10.6 当社取締役執行役員専務(現任)



かわむら まこと
川村 誠*1
取締役
'05.6 京セラ株式会社代表取締役社長
'09.4 同社代表取締役会長(現任)
'09.6 当社取締役(現任)



ささき しんいち
佐々木 眞一*1
取締役
'05.6 トヨタ自動車株式会社専務取締役
'09.6 当社取締役(現任)
トヨタ自動車株式会社代表取締役
副社長(現任)



かつまた つねひさ
勝俣 恒久*1
取締役
'02.10 東京電力株式会社代表取締役社長
'06. 6 当社取締役(現任)
'08. 6 東京電力株式会社代表取締役会長
(現任)

監査役

常勤監査役

いき まさたか
吉岐 雅隆

さんべい よしなり
三瓶 美成

よしなが まさゆき
吉永 昌幸*2

*1 社外取締役

*2 社外監査役

取締役勝俣恒久氏および常勤監査役吉永昌幸氏は、株式会社東京証券取引所の有価証券
上場規程第436条の2に規定する独立役員です。

監査役

にしかわ よしひこ
西川 美彦*2

わたなべ かつあき
渡辺 捷昭*2

基本理念

KDDIは、2000年10月にDDI、KDD、IDOの3社が合併し、移動通信から固定通信まであらゆる通信サービスを提供する総合通信事業者として発足しました。国内の電気通信市場の競争が激しさを増すなか、3社の資産、人財、技術力を融合させ、より高品質で利便性の高い、革新的な情報通信サービスを提供することで、社会からの期待に応え、社会とともに持続的に成長する企業への変革を目指しました。

発足時には、合併のシナジー効果を最大限に発揮させるために、異なる企業文化をもつ社員に共通の価値観を醸成することが何よりも必要と考え「KDDIフィロソフィ」を策定しました。これは、一般的には「企業理念」や「社訓」に相当するもので、全社員が自らの行動を律するための規範として、その徹底を図りました。以来、16社の企業が統合し、多様性を備え持った企業に成長しましたが、「KDDIフィロソフィ」のもと、常にお客様の視点で考え、新たな価値を創造することに挑戦し続けています。

KDDIフィロソフィの基本理念

お客さまの満足と信頼の確保

お客さまの期待に応える価値あるサービスを提供します。

従業員の幸せ、活力ある企業

すべての従業員が働きがいを持てる活力ある企業であり続けます。

株主さま、お取引先さまなどの信頼

株主さま、お取引先さまなど、関係するすべてのの方々の信頼に応えます。

社会の発展

豊かなコミュニケーションによる国際社会の発展に貢献します。

コーポレート・ガバナンスの基本的な考え方

当社は、株主の皆様にとっての企業価値を高める上で、コーポレート・ガバナンスの強化は重要な課題であると考えており、経営の効率化と透明性の向上に努めています。

業務の執行につきましては、執行役員制度（2001年6月導入）により権限の委譲と責任体制の明確化を図り、有効かつ効率的に業務を遂行しています。また、迅速な経営判断を目指して、社内意思決定フローのシステム化も推進しています。

株主総会につきましては、招集通知の早期発送や集中日を回避した開催日の設定のほか、議決権プラットフォームによるPCおよび携帯電話からの議決権行使も受け付けており、株主総会の活性化と議決権行使の円滑化を積極的に推進しています。

取締役会は、社外取締役を含む取締役で構成し、法令などに定める重要事項の決定を行うとともに取締役などの適正な職務執行が図られるよう監督しています。取締役会付議事項のほか、業務執行に係る重要事項については、取締役、執行役員にて構成される経営会議において決定しています。また、取締役会は執行役員を選任・解任する権利を有しています。

監査役は、取締役会に出席するほか、社内主要会議に出席しています。取締役会および内部監査部門は、監査役の職務遂行

に必要な情報を適宜・適時提供するとともに、意見交換を行い、連携を図ります。また、定例的に会計監査人から会計監査の年度計画および会計監査の状況およびその結果について報告を聴取するほか、必要に応じ適宜意見交換を実施しています。そのほか、監査役の職務を補助するための監査役室を2006年に設置しており、それに従事する使用人の人事については、監査役の意見を聴取しています。

内部監査につきましては、当社グループの業務全般を対象に実施しており、内部統制体制の適切性や有効性を定期的に検証しています。内部監査結果は問題点の改善・是正に関する提言を付して代表取締役社長に報告するほか、監査役に報告を行います。

その他の機関としては、コンプライアンス関連事項の審議決定機関である「企業倫理委員会」や、開示情報の審議機関である「ディスクロージャー委員会」を設置しています。グループ各社の管理についてもシステム・体制などさまざまな面で連携し、KDDIグループ全体としてガバナンス強化を図っています。

当社のコーポレート・ガバナンス体制は次ページの通りです。

リスクマネジメント

当社は、取締役などで構成される各種会議およびリスク管理情報を定期的に洗い出し、これを一元的に管理するリスクマネジメント本部を中核として、すべての部門、役職員が連携して、社内関連規程に基づき、当社グループのリスクを適切に管理し、経営目標の適正かつ効率的な達成に取り組んでいます。

それらの遂行にあたっては、当社グループで任命された「内部統制責任者」が中心となり、自律的に推進しています。

リスクマネジメント体制

- (1) 経営戦略などに係る会議体において、当社グループの持続的な成長を図るべく、ビジネスリスクの分析および事業の優先順位付けを厳正に行い、適切な経営戦略や経営計画を策定しています。その実現のため、業績管理に係る会議体において、月次でビジネスリスクを監視し、業績管理の徹底を図っています。
- (2) TCS（トータル・カスタマー・サティスファクション「Total Customer Satisfaction」）に係る会議体において、月次でTCS活動の評価・改善を図り、お客様ニーズや苦情へ迅速かつ適切に対応するよう努めています。また、製品安全に係る諸法令を遵守し、お客様に安心、安全で高品質な製品・サービスを提供するよう努めるとともに、お客様へのわかりやすい情報の提供と適正な表示を行うよう努めています。
- (3) 当社グループの広報・IR活動のさらなる充実に向け、当社グループの経営の透明性を確保し、すべてのステークホルダーから理解と信頼を得るよう努めています。
当社グループを取り巻くビジネスリスクについては、情報開示に係る会議体において、公正に洗い出し、適時、適正に開示するよう努めています。
- (4) 会社事業に重大かつ長期にわたり影響を与える事項については、事業中断などのリスクを可能な限り低減するための対応策を検討し、事業継続計画(BCP)を策定するよう努めています。

業務品質向上の推進体制

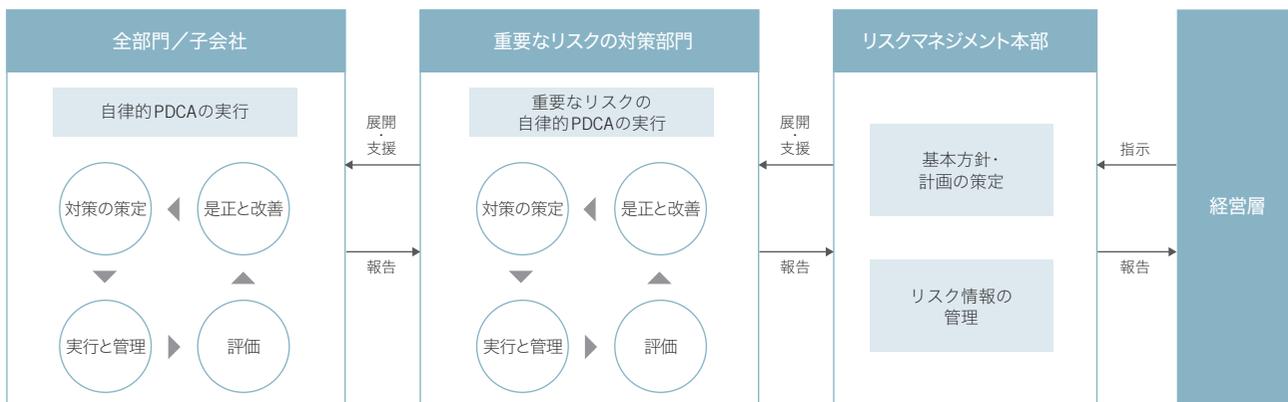
- (1) 財務報告に係る内部統制については、当社グループの全社的な内部統制の状況や重要な業務プロセスについて、評価・改善を行い、一層の信頼性向上に努めています。
- (2) 業務の有効性、効率性の向上や資産の適正な取得・保管・処分など、当社グループの業務品質向上のために必要な体制の整備、充実を図っています。

電気通信事業者としての体制

- (1) 通信の秘密は、これを保護することが当社グループの企業経営の根幹であり、これを遵守するよう努めています。
- (2) お客様情報などの漏洩の防止、電気通信サービス用ネットワークへのサイバーテロの防護など会社の全情報資産の管理については、情報セキュリティに関する会議体などにおいて、その施策を策定し、役職員が連携して情報セキュリティの確保を図るよう努めています。
- (3) 重大な事故・障害、大規模災害などによる通信サービスの停止、中断などのリスクを可能な限り低減するため、ネットワークの信頼性向上とサービス停止の防止施策を実施できるよう努めています。

非常災害発生時などには迅速な復旧などのため、可及的速やかに対策本部を設置して対応にあたります。

KDDIグループのリスク管理体制図



コンプライアンスについての考え方

当社は、電気通信事業法で定められている「通信の秘密」を厳守することをはじめ、法令遵守は企業経営の根幹と考え、コンプライアンスの体制の整備と強化を進めています。また、全従業員が常に高い倫理観を維持し、適正な職務の執行を図るため、コンプライアンスに関する意識の向上に努めており、2003年1月には企業活動を行う上で守るべき基本原則を掲げた「KDDI行動指針」を制定しました。

コンプライアンス推進体制

コンプライアンス関連事項を審議決定する機関として「KDDIグループ企業倫理委員会」を設置し、啓発活動の方針策定やコンプライアンスに反する事項が発生した場合の対処、社外への情報公開、再発防止策などの検討を行います。委員会の活動状況は、イントラネットを通じて全従業員に公開しています。



コンプライアンス教育・研修・啓発

従来の管理職研修および従業員ローテーション研修におけるコンプライアンス講座、ならびに全従業員を対象としたeラーニングによる教育に加え、2008年4月から、新入社員研修においても、コンプライアンス講座による教育を開始しています。

主な研修実績

| | 2009年度実績 |
|------------|----------|
| 一般従業員向け研修 | 約700名 |
| 管理職・ライン長研修 | 約1,300名 |
| 新入社員研修 | 約300名 |
| eラーニング | 約19,000名 |

企業倫理ヘルプライン

全従業員を対象とし、企業倫理や法令遵守についての疑問や悩みを相談する窓口として「企業倫理ヘルプライン」を設置しています。社内だけでなく、外部の専門家と連携した窓口を開設し、申告しやすい環境を整えています。また、「公益通報者保護法」に対する社内規定を制定し、積極的な啓発活動も行っています。

KDDIグループ会社のコンプライアンス体制整備

グループ会社においても行動指針を制定し、企業倫理委員会、企業倫理ヘルプラインを設置しています。毎年、半期ごとに企業倫理委員会を開催し、各社の状況把握をするとともに、コンプライアンスの体制構築、強化を支援しています。



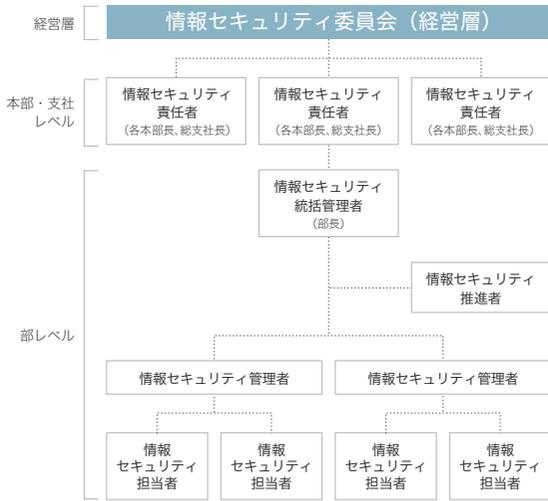
有富 寛一郎
代表取締役副会長
KDDIグループ企業倫理委員会委員長

当社では、「心を高める」という社是のもと、自らの行動を律するための規範としての「KDDIフィロソフィ」を掲げ、これを企業活動の中で実践する道標として、「KDDI行動指針」を策定しております。また、全役員・全従業員が高い倫理観と遵法精神に基づく行動をとることにより、お客様や社会から厚い信頼と高い評価を得られる企業となるよう取り組んでおります。このため平素から、全役員・全従業員に対し、フィロソフィ・行動指針をベースとした教育・研修・啓発活動を組織的継続的に行うことでコンプライアンス意識の浸透を図りますとともに更に強固なコンプライアンス体制の整備・確立に努めてまいります。

情報セキュリティ

当社では、経営層および営業・技術・コーポレート部門長を委員とする「情報セキュリティ委員会」を運営し、全社の情報セキュリティ管理状況を的確に把握するとともに、必要に応じて情報セキュリティ強化のための各種施策をグループ全体へ迅速に展開できる体制を整備しています。

セキュリティ管理体制図



当社は、電気通信サービスを安全に安定して提供する企業としてお客様情報および会社の機密情報を厳格に取り扱うとともに、様々な側面から情報セキュリティ強化のための施策を継続的に実施しています。

2009年度は、4月に社内全部署へ拡大したISMS認証の維持活動を中心に、情報セキュリティの継続的改善を進めてきました。人的対策としては、情報セキュリティの強化月間を設け、eラーニング・セルフチェックに加え、グループ討議を行い、従業員の意識向上に注力しました。技術的な対策としては、作業ミスを予防するためのメールソフトや業務用システムの改修に加え、お客様情報をより安全に取り扱うことができるよう対策を施した

OA環境の整備、社外から社内ネットワークに安全にアクセスし、業務用システムの利用が可能となるリモートアクセス環境の整備等を行いました。また、事業用電気通信設備に対しても、不正アクセスに繋がる新たな脆弱性やウイルス感染等の脅威に関する情報を収集し、必要な対策を実施しています。

2009年度のKDDIグループ子会社の情報セキュリティの取り組みとして、沖縄セルラー電話(株)、(株)KDDIテクニカルエンジニアリングサービス、(株)KDDI総研がISMS認証を取得、中部テレコミュニケーション(株)がプライバシーマークを取得し、情報セキュリティ・個人情報保護の継続的改善のしくみを構築しています。

今後も、マネジメントシステムの継続的改善の枠組みを活用し、KDDIグループ全体で情報セキュリティの強化に取り組んでまいります。

当社が取得したISMS認証

| 登録番号 | 組織名 | 初回登録日 |
|-----------|---------------------|-------------|
| IS 76406 | 渋谷データセンター | 2003年 7月 4日 |
| IS 85329 | 情報システム本部 | 2004年 9月28日 |
| IS 88665 | 江東テクニカルセンター | 2004年12月13日 |
| IS 95253 | KDDI株式会社*1 | 2005年 6月 7日 |
| IS 94986 | 大手町テクニカルセンター | 2005年 7月11日 |
| IS 500630 | ネットワークオペレーションセンター | 2006年 4月18日 |
| IS 506507 | 大阪テクニカルセンター | 2006年10月27日 |
| IS 507482 | セキュリティ・オペレーション・センター | 2006年10月27日 |
| IS 521724 | サービス運用本部 | 2007年10月22日 |
| IS 537749 | FMBCオペレーションセンター | 2008年 9月30日 |
| IS 544901 | KDDI株式会社*2 | 2009年 4月10日 |

*1 コーポレート・顧客サポート・建設・技術・営業各部門、および(財)国際電信電話共済会、KDDI健康保険組合、KDDI企業年金基金、(株)KDDI総研

*2 運用統括本部設備運用本部・サービス運用本部、および日本通信エンジニアリングサービス(株)



嶋谷 吉治

取締役執行役員常務

情報セキュリティ委員会委員長

当社は、電気通信事業者として、お客様に安心・安全な情報通信サービスをご利用いただけるよう、全社を挙げて情報セキュリティの強化に取り組んでおります。事業用電気通信設備に対する外部からのセキュリティ脅威については、24時間体制で監視を行い、適宜必要な対処を行っております。また、通信の秘密やお客様の情報などの重要な情報の保護については、全従業員・委託先を含め、グループ全体で取り扱い手順の遵守・徹底に努めております。

情報セキュリティを確保するためには、従業員一人一人の意識向上が不可欠となるため、2009年4月に社内全部門で取得したISMS認証の枠組みを活用し、各職場における継続的な改善活動にも力を入れております。

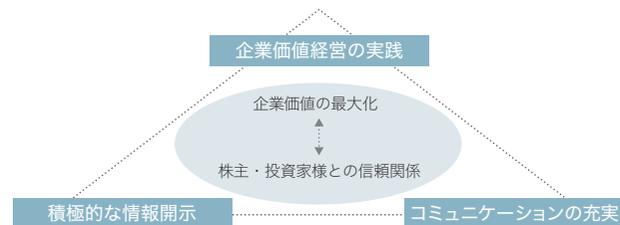
情報セキュリティの活動は、日常業務に根付かせて、永続的に取り組んでいく必要があります。情報セキュリティ委員会の活動を核として、必要な対策を機動的に実施し、改善のためのPDCAサイクルを継続的に回すことによって、当社の情報セキュリティをより強固なものにしてまいります。

情報開示とIR

当社は、投資判断に影響を与える会社情報については、金融商品取引法などに則り、株主・投資家の皆様に分かりやすい形で、適時かつ公平な情報の開示を継続的に行っています。また、「IR基本方針」をホームページ上で公開し、IR活動についての基本的な考え方や情報開示の体制などを説明しています。特に、決算期に開示する決算情報については、「ディスクロージャー委員会」を設けて、集中的に審議を行い、経営の透明性の向上と適切な情報提供に取り組んでいます。また、株主・投資家の皆さまよりいただいたご意見については、経営層のみならず、社内にも幅広く情報共有し、事業戦略、経営戦略上の貴重なご意見として参考にしています。

IR基本方針

当社のIRは、常に積極的かつ充実した対話を継続することで、株主・投資家さまの満足度向上を図り、当社の経営に対する信頼性を高めることを目的としています。



IR活動指針

当社は、以下の活動指針に基づいたIRを実施することで、株主・投資家様との長期的な信頼関係を構築し、企業価値の最大化を図っています。

活動指針3カ条

- 開かれたIRを目指します

誠実かつ公平な情報開示により、株主・投資家さまに対する説明責任を全うするとともに、双方向性を重視し、株主・投資家さまとの対話を大切にします。

- 能動的なIRを実施します

常に新しい発想でIRを展開することで、より多くの皆様にKDDIを知っていただくとともに、さらなる理解促進に努めます。

- 組織的なIRを展開します

経営トップのリーダーシップのもと、グループ企業を含めた全役職員が、企業価値向上の担い手として組織的なIRを行います。

2009年度のIR活動

コミュニケーションの充実

経営陣から当社業績を直接説明する場として、決算説明会を四半期ごとに開催しているほか、国内外の投資家の皆さまとの個別ミーティングやスモールミーティングの実施、証券会社主催の各種カンファレンスや個人投資家向けセミナーへの参加など、コミュニケーションの充実に取り組みしました。

また、株主・投資家さまの声をタイムリーに経営にフィードバックしました。

IRツールの充実・外部機関からの評価

決算説明会や株主総会の模様をホームページにて動画配信しており、同じ内容を英語でもご覧いただけるようご用意しています。また、決算短信などの各種決算資料のホームページへの掲載、メールマガジン、モバイルIRサイトなど、さまざまなIRツールを通じた、積極的な情報開示を推進しています。

当社のIR活動の成果として、2009年度は、大和インベスター・リレーションズ株式会社の「2009年インターネットIR・ベスト企業賞」に5年連続で選ばれたほか、日興アイ・アール株式会社の「2009年度全上場企業ホームページ充実度ランキング」において「総合ランキング」で3位、「情報・通信業」においては2位に選ばれ、高い評価をいただくことができました。

また、2010年4月現在、日本国内の代表的なSRI*1インデックスである「モーニングスター社会的責任投資株価指数」*2にも組み入れられています。

*1 社会的責任投資 (Socially Responsible Investment)。

*2 モーニングスター株式会社が国内上場企業のなかから社会性に優れた企業と評価する150社を選定し、その株価を指標化した国内初の社会的責任投資株価指数。



IRコンタクト先

〒102-8460

東京都千代田区飯田橋3-10-10 ガーデンエアタワー

コーポレート統括本部 経営管理本部 IR室

Tel: 03-3347-0077(代表) Email: kddi-ir@kddi.com

内部統制 – 企業クオリティ向上への取り組み –

当社は、会社法第362条第5項の規定に基づき、2006年4月19日および2008年1月25日、2010年3月11日開催の取締役会において、取締役の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するため、「内部統制システム構築の基本方針」を決議し、公表しております。

本基本方針に基づき、会社業務の執行の公正性、透明性および効率性を確保すべく、実効性のある内部統制システムの構築に取り組み、企業クオリティの向上を図っております。

内部統制報告制度への対応

2008年度から適用された金融商品取引法に基づく内部統制報告制度への対応としては、専門担当組織として内部統制部を設置し、財務報告の信頼性を確保すべくKDDI本体および主要なグループ子会社の内部統制システムの構築を行い、内部統制評価を実施しました。評価結果については内部統制報告書としてとりまとめ、2010年6月に内閣総理大臣に提出し、投資家の皆様に開示しております。

企業クオリティ向上を目指した「業務品質向上」への取り組み

当社は、内部統制報告制度への対応は企業クオリティ向上への通過点と位置づけ、同制度への対応を契機に設置した内部統制部を全社活動の推進事務局として、業務の効率化、標準化を図りながら、業務の質を高め、付加価値拡大を図る、全社をあげた「業務品質向上」にも取り組んでいます。

2010年度からはKDDI本体および主要グループ子会社に計37名の「内部統制責任者」を、さらに、それを統括する9名の「内部統制統括責任者」を任命し、この責任体制の下ですべての組織が内部統制システムの整備・運用に加え、「業務品質向上」の推進を図ります。

また、全従業員に対し、内部統制の理解を深めるため定期的に集合研修やeラーニングを実施しています。

内部統制活動の推進体制

